



総務省情報流通行政局放送技術課課長補佐

佐々木 大祐 Daisuke SASAKI

平成 21年 4月 総務省採用
 同 情報通信国際戦略局技術政策課
 平成 23年 7月 文部科学省研究開発局参事官付
 平成 24年 4月 同 研究開発局参事官付専門職
 平成 24年 7月 同 研究開発局宇宙開発利用課専門職
 平成 25年 7月 総務省総合通信基盤局電波部移動通信課移動体推進係長
 平成 27年 8月 同 情報通信国際戦略局通信規格課開発係長
 平成 28年 7月 国立研究開発法人情報通信研究機構経営企画部
 企画戦略室マネージャー
 平成 30年 7月 現職

未来をつなぐ

日本の地デジで世界をつなぐ

日本の地上デジタルテレビ放送は、ブラジルをはじめとした中南米を中心に採用されており、各国とも地デジ放送の移行に向けて日々取り組んでおります。現在、私が所属する放送技術課では、そのような日本の地デジ方式を採用した国に対して、日本の地デジ放送の完全移行の経験を共有する等、各国の地デジ放送の移行状況に応じた技術支援を行っています。

先日、2017年1月に日本の地デジ方式を採用したエルサルバドルで、地上デジタルテレビ放送の開始イベントがあり、合わせて日本の放送関係の事業者とともに地デジのセミナーを開催する等技術支援を行ってきました。直接、現地の政府関係者や事業者と話してみると、日本の放送技術への期待を強く感じるとともに、責任の重さに身の引き締まる思いがしました。日本の地デジ方式を採用してもらって終わりではありません。引き続き、各国の地デジ放送の移行が進むよう取り組んでまいります。

情報通信技術で未来の社会をつなぐ

入省してまもなく10年経つことに驚きで

すが、これまでに、今後数十年先の社会を支える最先端のICT研究開発の取りまとめや、将来の携帯電話の環境を整備する第4世代移動通信システムの事業者への周波数の割当て、国際標準化や実用化を目指した国際的な研究開発推進事業等を担当しました。また、研究機関に Outreach、さらにその先の未来を創造する技術シーズに触れる経験など、我々の未来の社会をつなぐ情報通信技術にいろいろな立場から経験することができました。

思いで人をつなぐ

私が総務省を希望したのは、漠然と、人の役に立ちたい、そして、情報通信技術は人々の基盤となり、今後、我々の社会の役に立つだろうという理由からでした。入省して10年が経ち、改めて振り返ってみると、私が入省したころから、携帯電話は一人あたり一台以上所有するようになり、最大通信速度も数Mbpsから1Gbpsになりつつあり、人々の生活にはなくてはならないものになりました。また、多言語音声翻訳や4K/8Kは我々の社会をより快適に充実した環境に変化させています。さらに、今後、5G等を活用することで、少子高齢化や地域社会の課題を解決する可能性があり、情報通信技術は今後も人々の基盤となり、入省

当時に漠然と思っていたことが、確信に変わりつつあります。未来は分かりませんが、情報通信技術は確実に未来の社会を支える技術の中心であり続けると信じています。

人の役に立ちたい、そして、情報通信技術の将来性を感じている方、お待ちしております。



エルサルバドルでのセミナー講演の様子



休日は、総務省フットサルサークルで活動！(筆者 前列左から2番目)

ICTが持つ力

ICT(情報通信技術)という言葉を知り、皆さんはどのようなイメージを持たれるでしょうか？

どちらかと言えば、「世の中を変える」という方をイメージされる方が多いのではないのでしょうか。皆さんおなじみの携帯電話、スマートフォンやインターネット等は当初世の中を大きく変えましたが、普及が進み、次第に人々の生活の中に溶け込むにつれ、それがなくては十分に生活が営めないほど、日々の暮らしの中に根差した「世の中を支える」ものになりました。当たり前のことではあるのですが、ICTが世の中を変えるという一面だけでなく、時代を経て世の中を支えるようになるということ意識して、業務に取り組むようにしています。

今、携わっている業務

現在、スマートフォン等のモバイル端末を用いた決済の普及に向けたプロジェクト(モバイル決済モデル推進事業)に携わっています。モバイル決済は、最近ニュースにも多く取り上げられるようになりました。消費者側ではアプリをダウンロードして必要な設定を行うとすぐに使え、スマホ1台で日常の買い物ができるようになりますし、

店舗側にとっても従来のキャッシュレス手段と比べて導入が安価(ステッカー1枚からでも導入可能!)ですむことから、キャッシュレス化が中々進まない日本において、その普及が大きく期待されています。しかし、使える店舗がまだ少ないこと、乱立する決済アプリがそれぞれ独自のQRコード等を発行しているため、店舗において複数の決済アプリへ対応するのが煩雑であること等が、普及に当たって目下課題として上げられています。そういった課題をいかに解決し、普及を進めていくかを、決済事業者をはじめ地域の金融機関、地方自治体や商工団体、また関係団体であるキャッシュレス推進協議会など、本当に様々な方々からお話を聞いて、またご協力頂きながら本プロジェクトと一緒に推進しています。それぞれの現場での物事のとらえ方や問題意識は様々で、まさに世の中を「変える」から「支える」になるまでを、色々な方と一緒に検討・推進できる機会に恵まれたことは大変貴重だと実感しています。

就職の選択肢の一つとして

モバイル決済もそうですが、様々な人がICTを活用してSNSなどで直接つながれるようになった事で、多種多様な価値観が生み出され、その価値観を元にして、従来

の通信分野の枠を飛び越え、金融や医療、自動車などの分野でもICTを活用した新たなサービスや事業が展開されています。このように世の中の変化が更に加速度を増している中で、皆さんの就職先には魅力的で多様な選択肢がいっぱいあって本当に迷われると思います。そんな中、総務省はICTという切り口で、多様でダイナミックな世の中動きを見ながら、将来のよりよい日本となるような取組を行っていると思います。技術系の大学や学部で、就職先に国の行政というのは想像がつかないかも知れませんが、まずは説明会や官庁訪問で話を聞いてみるだけでも構いませんので、その上で皆さんの就職先の選択肢の一つとして総務省を検討してもらえると嬉しいです。



総務省情報流通行政局情報通信政策課主査

和田 憲拓 Kazuhiro WADA

平成 25年 4月 総務省採用
 同 情報通信国際戦略局技術政策課研究推進室
 平成 27年 8月 同 情報通信国際戦略局国際協力課
 平成 29年 7月 同 総合通信基盤局電波部移動通信課
 新世代移動通信システム推進室国際係長
 併任 高度道路交通システム推進室
 平成 30年 8月 現職

世の中を変える力、 世の中を支える力